

最終発表読み原稿

■これから【(地域創造学)2班】の最終発表を行います。

1組の●●と、2組の●●と、3組の●●と、3組の●●と、3組の●●です。どうぞよろしくお願いします。

私たちの班の研究課題は「天理本通り商店街の活性化 一若者目線から空き店舗の利用のアイデアを考えるー」について研究していきたいと考えています。

■テーマ設定の動機や理由は【駅近に商店街があるのに活性化されていないように感じました。理由として、後継者不足やネットショッピングの普及などがある】と考えました。関係するSDGsは【8番の「働きがいも経済成長も」と11番の「住み続けられるまちづくりを」】です。

■この研究課題に関して、わたしたちのグループが設定した仮説は【2】つあります。

1つめは【『食』を通じて、若者と商店街を結びつけて考える】です。例えば、飲食店を出店して「食べ歩き」の企画をしたいです。

2つめは【「商店街の空き店舗を若者向けの『シェア・スペース』として活用できれば、利用者がいるのではないか】です。

考えたことは

- ①【シェアキッチン】
 - ②【美容室のシェア】
 - ③【ワークショップ】
 - ④【シェアハウスやゲストハウス】にリノベーションをする。
 - ⑤IT企業やシステム開発のサテライトオフィス等に使用する。
 - ⑥観光と結びつけて考えたのが、トウクトウクを導入して街おこしをする。
- 以上、6つ考えました。

■まず、仮説の1つめ【食べ歩き企画】について検証した結果について報告します。

検証1として、商店街へのインタビューは当初1回のみ伺う予定でしたが、1回目のインタビュー後、もう一度、インタビューに伺う必要が出てきたので、2回伺いました。

1回目のインタビューの質問1と2、回答1と2はスライドをごらんください。

次のスライドは質問3と4、回答3と4です。

次のスライドは質問5と回答5です。

1回目のインタビュー時「食べ歩き企画」でネックになった容器のごみ問題ですが、解決策として、**食べられる容器**があることを知りました。インターネットで調べると、容器以外にもスプーンやお箸もあることがわかりました。例えば、丸繁製菓が発売・販売を進めている「e-trey(イートレ)」というものがあります。他に「モグカップ」があり、じゃがいものでんぷんが主原料のカップです。次に「パクーン」があります。これは管理栄養士の方が監修した商品です。「食べられるお箸」はイグサ、小麦粉、砂糖、卵が原材料です。

それを受けて2回目のインタビューで、**食べられる容器**について話をすると、興味を持っていただきました。そして、**食べられる容器**をクローズアップした**チラシ**を作成して、商店街に置かせていただくことになりました。

スライドは、私たちが作成した**チラシ**です。

次に**検証2**ですが、【**食べ歩き企画**】について、本校生徒にアンケートを行いました。その結果について報告します。

結果は次のとおりです。

回答の半分以上が揚げ物と甘い系で占めている。その次に焼き物、冷たいもの、フルーツ系と続く

グラフはスライドのとおりです。

結果は

片手で食べられるものがよい(70%)その次に手が汚れないもの(16%)

グラフはスライドのとおりです。

結果は200～300円(30%) 300～400円(29%)

グラフはスライドのとおりです。

結果は・飲食店(食べ歩き以外)・雑貨店・ブックカフェ

グラフはスライドのとおりです。

ネックになっていた容器の件は、食べられる容器にするのですが、【コスト面が気になるので】仮説1の妥当性は【有の70%】と考えられます。

■次に、仮説の2つめ【シェア・スペース】について検証した結果について報告します。

仮説2のインタビュー内容の質問1と2、回答1と2はスライドのとおりです。

次のスライドは質問3と4、回答3と4です。

次のスライドは質問5と6、回答5と6です。

つぎのスライドは質問7と8、回答7と8です。

最初、2つめの仮説は、6つ考えましたが、1回目の商店街へのインタビューで、興味を持っていただいたのが、①「美容室のシェア」と②「空き店舗をゲストハウスやシェアハウスにリノベーションする」そして③「トウクトウクを購入し、レンタルする」でしたので、3つにしぼって検証しました。

特に①「美容室のシェア」については、大変興味を示されました。

これは、若手美容師がそれぞれ顧客を持って技術を磨き、お金が貯まり数年経つと独立していく。次にまた、若手美容師の募集をするというシステムです。それを繰り返すことにより、若手美容師の育成につながると考えます。

しかし、懸念事項として、新たに美容室を開業するにあたり、衛生基準があるのでハードルが高いことを挙げられました。いかにハードルを越えるかが今後の課題です。

インターネットで調べてわかったことは

「美容室のシェア」とは主にシェアサロン(フリーランスの美容師が設備を共有利用する形態)や、既存サロンの空き席を時間で貸し出す面貸しの2種類があります。

私たちの班が考えたのは、シェアサロンと面貸しが合体した案になると思います。インターネットで調べて初めて「美容室のシェア」が、2種類あることを知りました。どちらにしても若手美容師を応援することができると思います。

次に②「空き店舗をゲストハウスやシェアハウスにリノベーションする」です。2回目のインタビューで、リノベーションの費用を、国や県、市の補助金の利用は可能かどうかをお尋ねすると、補助金の利用はできると思うが、どれくらい補助されるかが不明であるし、運営面でも不安がある。しかし、面白いアイデアであると言われました。

「ゲストハウスとシェアハウス」は周りの環境や歴史を考慮して、天理市独自のものにリノベーションすれば、成功する可能性があると思われます。

スライドは「ゲストハウスとシェアハウス」についてまとめた内容です。
スライドをご覧ください。

最後に③「トゥクトゥク」の導入です。

インターネットでトゥクトゥクが導入されている所を調べました。

奈良県では

- ・法隆寺周辺でトゥクトゥクで法隆寺や法輪寺などの史跡名所を巡る体験ツアーが人気です。
- ・他にも明日香村レンタサイクルがevトゥクトゥクをレンタル提供しています。

全国では、

- ・京都市ではトゥクトゥクをレンタカーとして貸し出す事業があります。
- ・大阪府能勢町豊能町
バス路線の廃止が進む能勢町、豊能町における観光振興に貢献している
- ・滋賀県大津市坂本町の「町の足」としてトゥクトゥクを走らせて地元を盛り上げている

以上、意外とたくさんトゥクトゥクが普及していることがわかりました。そこで、天理市のトゥクトゥクの活用を考えました。

例えば

- ・古墳巡り
天理市には西殿塚古墳や黒塚古墳櫛山古墳など、多くの古墳があります。いろんな所に点在する古墳をつなぐ乗物としてトゥクトゥクはオープンなので景色も楽しめると思います。

- ・駅と観光地(イチゴ農園、長岳寺、石上神宮等)を結ぶ乗物としての活用

これも、2回目のインタビューで、トゥクトゥクの導入は金銭面と運営面、それと安全面のハードルはある。しかし、面白いアイデアであるので、天理本通り商店街協同組合のホームページで発信したいと話されました。

この結果から【 商店街の方は興味を持たれましたが、金銭面等課題が多々ある 】と考えられます。

そのため仮説2は妥当性【有の50%】と考えられます。

■課題研究を通してわかったことは【5】つあります。

- 1つめは【食べられる容器やスプーン、お箸があること】
- 2つめは【美容室のシェアには、2種類あること】
- 3つめは【トゥクトゥクの普及率は私たちが考えていたより、多いこと】
- 4つめは【天理本通り商店街協同組合は、商店街の活性化についてとても取り組まれていること】
- 5つめは【天理本通り商店街の活性化について、大学生や専門家、各種団体が研究されていること】

最後に

私たちの研究した内容は、今すぐにできることは一つもありません。その理由は、わかったことでも書きましたが、いろいろな方が商店街の活性化について研究されていて、私たちが考えたすぐできる案はすでに実施されたそうで、なかなか成功には至っていないのが現状です。ゆえに私たちは何年か先にできたらいいと思うのを提案しました。お金も時間もかかるとは思いますが、少しでも天理本通り商店街が活性化できたらと考えています。

以上で、【2】班の発表を終わります。最後までお聞きいただきありがとうございました。